

## 概況

目前に迫った東京オリンピックに向けての和 문화の魅力発信という国家的な大方針が、創立の精神と重なる所であることを確認しつつ、一助を担っていかうとして、新年度を迎えた。本年の事業は、一昨年より東京茶道会の一員として参加を始めたチーム J-culture2020（茶、花、畳、着物の四業界が協力して、和文化を発信する動き）の活動を一層活発ならしめるように、和文化・産業連携振興協議会として組織を強化し、設立の記者会見を兼ねたイベント、若手企業人との連携を模索したフューチャーセッション等に会場も提供、2020年における和文化発信の展開にむけて布石を打っていった一年であった。

その状況は、新型コロナウイルスの感染拡大により、3月に東京オリンピック・パラリンピックの延期が決まることによつて一変した。法隆寺金堂障壁画保存公開への協力を目的とした茶道会と古美術界が協力して計画した「七家元茶会」が延期になったことをはじめ、3月中旬からは、教習も自粛する中で、年初計画が未消化だけでなく、新年度への影響を測りかねる中で、終了せざるをえなくなった。

I. 茶道文化研究に関する学術的研究を振興するための顕彰・助成および研究（公益目的事業1）  
毎年出版される外部のすぐれた茶道文化研究を顕彰するのみならず、外部の研究者の茶道文化研究をも助成、あわせて独自の調査研究を行い、それらの成果を公開する。

### 1. 茶道文化研究の顕彰

- ・令和元年に出版されたすぐれた研究図書に対して、茶道文化学術賞・茶道文化学術奨励賞を贈呈するため、茶道文化学術賞選考委員会で審議を実施した。

令和 元年度の審議結果は、以下のとおり

茶道文化学術賞： 該当なし

茶道文化学術奨励賞： 該当なし

### 2. 茶道文化研究への助成

- ・茶道文化学術助成

有望な研究計画に対して奨励研究・一般研究に分けて研究費助成を行うとともに、研究図書に対する刊行費助成を行い、茶道文化研究を促進するため、申請を受けた研究計画に対して、茶道文化学術助成を行うことの検討も茶道文化学術賞選考委員会で審議を行い、令和元年度茶道文化学術助成金は以下の通り。

奨励研究助成： 該当なし

一般研究助成： 吉野亜湖 「近代の万国博覧会で展開された日本茶道——茶産業と茶文化の関係」

一般学術図書刊行助成： 永井晋 『金沢文庫古文書』の中世喫茶資料  
関剣平 『中国古代茶文化史』

### 3. 茶道文化の調査研究

(1) 茶道文化に関する幅広い調査研究を行う。

調査研究事業の研究項目は、「茶道の芸術社会学的研究」「江戸初期茶書類の研究」という項目を掲げて調査研究を行った。

(2) 研究成果は、最終的に単独の研究書刊行を目標とする。

## II. 茶道文化体験の提供及び茶道文化体験を提供できる茶道文化普及者の育成（公益目的事業2）

東京オリンピック開催が近づくにつれて、「茶の湯展」、「世界らん展」など、多くの外国人招致を意識したイベントも開催されるようになってきた。独自に体験教室を開催することに加えて、こうしたイベントに積極的に協力することで、茶道文化体験の機会を増やすべく活動した。

### 1. 茶会の実施（主催）

・令和元年度の実施結果は、以下のとおり

三徳庵猶興三回忌茶会	於 護国寺	令和 元年 5月 31日
仙樵忌茶会	於 徳友会館	令和 元年 10月 6日
徳川茶会	於 徳川美術館	令和 元年 10月 19日
秋季大茶会	於 護国寺	令和 元年 11月 4日
初釜	於 徳友会館	令和 2年 1月 6～8日

### 2. 茶会の実施に対する協力

(1) 慈善目的、文化施設公開目的の茶会の実施に対して協力し、茶道文化体験の普及並びに、文化財の公開に協力した。

東京美術倶楽部主催 倶楽茶会	於 東京美術倶楽部	令和 元年 11月 28～29日
農水省三番町共用会議所 一般公開 お茶体験会	於 旧山縣有朋邸庭園跡	令和 元年 11月 30日 12月 1日・7日
護国寺主催 慈善茶会	於 護国寺	令和 元年 12月 15日

(2) 例年のとおり、護国寺、東京茶道会の茶会に協力した。

東京茶道会	於 護国寺	令和 元年 6月 9日
東京茶道会 茶筥供養	於 護国寺	令和 元年 12月 8日
東京茶道会 招待茶会	於 護国寺	令和 2年 2月 11日

(3) その他、茶道美術展などに対する添釜・呈茶に関しては、適宜担当者を決めて、受託または斡旋を行った。

### 3. 茶道講座の開催

(1) 本部等において、茶道教習、関連文化講座を実施した。

点前 および茶花教習	於 本部教場	通年
夏期講習会	於 日本教育会館	令和 元年 7 月 20～21 日
夏期集中教習	於 本部教場	令和 元年 8 月 2～4 日 令和 元年 8 月 20～22 日
茶道講座	於 本部教場	令和 元年 9 月 14 日
茶花特別教習 菖蒲	於 本部教場	平成 31 年 4 月 20 日
椿・水仙	於 本部教場	令和 元年 12 月 14 日

(2) 大日本茶道学会各支部等の主催する講習会へ講師を派遣し支援した。

福岡研修会	於 大濠公園日本庭園茶会館	令和 元年 5 月 12 日 令和 元年 9 月 1 日
郡山研修会	於 男女共同参画センター さんかくプラザ	令和 2 年 2 月 15 日
長野(東信)研修会	於 小諸文化センター	令和 元年 5 月 19 日
山形県支部研修会	於 山形清風荘	令和 元年 5 月 26 日
静岡研修会	於 富士ロゼシアター	令和 元年 6 月 9 日 令和 元年 10 月 27 日
愛媛県支部研修会	於 愛媛県生活文化センター	令和 元年 6 月 23 日
富山県支部研修会	於 黒部市中央公民館	令和 元年 7 月 28 日
長野(南信)研修会	於 駒ヶ根長春寺	令和 元年 9 月 8 日
神奈川県支部研修会	於 本部教場	令和 元年 9 月 22 日
陽雲の会 (埼玉・群馬県境)	於 陽雲寺	令和 元年 9 月 23 日
みちのく例会・東北三支部(酒田・鶴岡・余目)合同研修会	於 遊心館	令和 元年 9 月 28～29 日
山梨県支部研修会	於 びゅあ総合	令和 元年 11 月 10 日
郡山・会津若松支部合同研修会	於 男女共同参画センター さんかくプラザ	令和 元年 5 月 18 日 令和 元年 11 月 16 日
宇都宮支部研修会	於 護国神社	令和 元年 11 月 17 日
大阪支部研修会	於 伊丹市お茶のみどり園	令和 2 年 2 月 16 日
埼玉県支部連合会研修会	於 本部教場	令和 2 年 2 月 22 日

(3) 受託事業として、各地の文化センターで茶道講座を開催した。

- ①朝日カルチャーセンター 新宿・千葉・横浜・名古屋
- ②NHK文化センター 仙台・郡山・川越
- ③株式会社読売・日本テレビ文化センター 横浜
- ④三越カルチャーサロン 於 三越日本橋本店

⑤『定年時代』共催特別講座 於 本部教場

(4) 学校の授業・特別行事に協力する

新渡戸文化学園	東京・中野	令和 元年 7 月 16～18 日 令和 元年 12 月 17～20 日
花園小学校体験教室	東京・新宿	令和 元年 12 月 20 日 令和 2 年 2 月 4 日
花園小学校クラブ	東京・新宿	令和 元年 4 月～ 令和 2 年 2 月 (10 回)
四谷小学校	東京・四谷	令和 2 年 2 月 8 日
四谷第六小学校	東京・四谷	令和 2 年 2 月 10 日
菊名小学校	神奈川・横浜	令和 元年 8 月 28 日
足立小学校	東京・足立区	令和 2 年 1 月 20 日
戸塚第一小学校茶道教室	東京・新宿	令和 2 年 1 月 29 日

(5) 地域への普及

茶道体験教室	於 本部教場	令和 元年 7 月 6 日 令和 2 年 2 月 8 日
--------	--------	---------------------------------

(6) 学校での茶道教習普及を目的とした指導者育成のための講習会ならびにスキルアップの研修会を開催する。

学校茶道資特別研修会	於 本部教場	令和 元年 8 月 23, 24 日
学校茶道資格者研修会	於 本部教場	令和 元年 8 月 25 日
大学茶道の集い	於 本部教場	令和 元年 8 月 5 日

4. 教習段階の認定

(1) 大日本茶道学会茶道（茶花科も含む） 教習者の教習段階の認定を行った。

(2) 教習資格の十二伝の段階では、筆記試験を実施した。

茶道講座筆記試験	於 本部教場	令和 元年 9 月 14 日
----------	--------	----------------

(3) 最終の長盆段階では、実技試験も実施した。

長盆実技試験	於 本部教場	令和 元年 11 月 26 日 令和 2 年 2 月 28 日
--------	--------	------------------------------------

(4) 学校等での茶道講習の期間に応じた修了証を発行した。

5. 点前体系の公開

・『茶道の研究』を毎月刊行した（第 64 巻第 4 号から第 65 巻第 3 号まで）。

## 6. 広報・普及活動

(1) フェイスブックの運用を始めた。

(2) 茶道文化普及のための広報誌「えんじゅ」NO. 99～102 を発行した。

(3) 茶道文化の普及のための講演会トークショー開催。

「お茶つながりがおもしろい Vol. 10」(土屋裕子氏 田中仙堂) 於 日経ホール  
令和 元年 9 月 7 日

(4) マスコミ等の取材に積極的に協力して、一般の人々にむけて茶道文化に関する記事・映像に触れる機会が少しでも高まるように努めた。

「日本の心を世界に伝えた明治の偉人たち 1 岡倉天心」解説『SMBC マネジメント+』  
2020 年 2 月号

(5) 大日本茶道学会各地方支部の本部機構として、支部長の認証を行い、支部長会議を主催し、全国で適切な茶道文化普及が行われるように統一目標を示す他、支部が主催する総会、例会、周年記念行事等の機会をとらえて、講話を行い、茶道文化普及の趣旨を各支部会員に徹底した。

大日本茶道学会埼玉県支部連合会総会 講演「仙翁前会長の贈りもの」  
ディスカッション「オリンピックを迎えてもてなしについて語る」  
於 浦和埼玉会館 令和元年 5 月 18 日

大日本茶道学会仙台支部 60 周年総会 「利休は何故退けられたのか」  
於 仙台国際ホテル 令和元年 6 月 16 日

大日本茶道学会東北地区大会みちのく例会  
「仙樵居士は日本人に何を伝えたかったのか」  
於 遊心館 令和元年 9 月 29 日

大日本茶道学会千葉県支部総会 「利休の「わび茶」の正体」  
於 ホテルニューオータニ幕張 令和 2 年 2 月 23 日

(6) 茶道普及に寄与する部外講演会に出講した。

「お茶から探る儀礼の心」於 儀礼文化学会 令和元年 9 月 15 日

「茶道はもっと楽しめる」 於 ACC 横浜 令和元年 12 月 8 日

(7) 各地でも公益性の高い活動に、適宜参加して、茶道文化普及活動を全国的に促進した。

令和元年度からは、他業種との連携にも力を入れて和文化の発信にいる

『和文化の未来を作る若手座談会「和文化発信の国際戦略をめぐって」』

和文化・産業連携振興協議会 於 日本橋 COREDO 室町 令和元年 9 月 25 日

「Future Session 和文化産業の未来を考える」

和文化・産業連携振興協議会 於 徳友会館

令和元年 11 月 15 日

(8) 日本博紹介パンフレットに、茶道紹介写真を提供した。 (令和 8 月 28 日刊行)

### III. 茶道関連、図書・用品の販売 (収益事業 1)

#### 1. 仕入れ商品の販売

- (1) 茶道学習に役立つ図書や茶道用品を仕入れ販売して、茶道学習や茶道文化体験への利便性を高めた。
- (2) 『千利休 「天下一」の茶人』(宮帯出版) を販売。

### IV. 管理部門 (法人会計)

#### 1. 会員

- (1) 賛助会を組織し、賛助会会費による財団運営の安定化を図る。より開かれた形の賛助会員制度の定着を図った。

#### 2. 寄附

- (1) 東京オリンピック・パラリンピックでの文化発信準備をアピールしつつ、当法人の事業目的を周知させるほか、公益財団法人に対する寄附の優遇制度の存在も告知して寄附を募集した。

### V. 処務の概要

#### 1. 役員会等に関する事項

##### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 5 月 20 日	平成 30 年度事業報告承認の件	原案の通り承認可決
々	平成 30 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	原案の通り承認可決
々	定時評議員会招集の件	原案の通り承認可決
令和 2 年 3 月 14 日	令和 2 年度事業計画書承認の件	原案の通り承認可決
々	令和 2 年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	原案の通り承認可決
々	令和 2 年度資金運用方針および計画の承認	原案の通り承認可決
々	茶道文化学術賞選考委員の選任の件	原案の通り承認可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年6月4日 々 々	平成30年度事業報告承認の件 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件 理事および監事の任期満了に伴う改選の件	原案の通り承認可決 原案の通り承認可決 原案の通り承認可決

(3) 茶道文化学術賞・学術助成金 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年1月24日 々	令和元年度 茶道文化学術賞の受賞作品を選考 令和元年度 茶道文化学術助成金の対象者を選考	原案の通り承認可決 原案の通り承認可決

2. 許可、認可及び承認に関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
なし	なし	なし	

3. 契約に関する事項（借入金契約、借地契約、工事請負契約その他重要な契約）

契約年月日	相手方	契約の概要
なし	なし	なし

4. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
文化普及活動への活用	243名	¥13,407,920	¥13,407,920	自由意志による寄付 条件方法特になし

5. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
令和元年6月25日 令和2年3月30日	平成30年度事業報告等の届出 令和2年度事業計画等の報告	内閣府に提出 内閣府に提出

事業報告の付属明細書

1. 役員以外の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	関係
理事	徳川 斉正	公益財団法人 徳川ミュージアム	会長	同一部類の事業を実施